

所属 人間生活学部 保育学科	職名 教授	氏名 駒形武志		
学位 教育学士(北海道教育大学)	特記すべき資格	小学校1級普通免許,中学校1級普通免許(社会),高校2級普通免許(社会),全日本スキー連盟指導員,全日本スキー連盟A級検定員 大学院における研究指導担当資格 無		
I 教育活動				
主な担当科目	<学部> 子ども文化論, 文章表現法, 子ども学			
教育実践上の主な業績	年月日	概要		
1. 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1) オリジナルな資料の作成	2017年4月～現在	子ども文化論, 文章表現法の講義において, 毎時間オリジナルワークシートを作成し, 講義の効率化を図るとともに理解を深める工夫をした。		
2) 活動を取り入れた授業の構成	2017年4月～現在	子ども文化論において, 実践を通して理論の理解をすることを心掛けている。昔遊びなどは実際にやってみることによってそのよさや深さが理解できた。		
3) 作品の記録化	2017年4月～現在	子ども文化論では「創作絵かきうた集」を, 文章表現法では手紙文の形式を「恋文集」としてまとめ, 学生に配布した。現場に出た時の貴重な資料となることを願っている。		
4) 視聴覚教材などの活用	2017年4月～現在	学生数の多い講義の場合はパワーポイントを使って図や表の提示, まとめ等に効果的に使用している。板書を併用することによって学生のノートへの記録にも配慮した。		
5) 授業評価の実施	2017年4月～現在	コメントシートを毎時間記入してもらうことによって, 講義の改善に反映するよう心掛けている。学生からの評価は, 概ね「わかりやすい」「楽しい」という評価を得ている。		
2. 作成した教科書, 教材				
3. 教育方法・教育実践に関する発表, 講演等				
4. その他教育活動上特記すべき事項				
1) 学科通信「散歩道」	2017年～現在	保育学科の教育内容・学生生活・就職状況などについて掲載した学科通信を毎年発刊している。4月に着任したご挨拶の一文を掲載していただいた。		
II 研究活動				
研究分野: 社会科学分野 教育学(児童文化) 人文学科分野 国語学(文章表現)	研究キーワード: 児童文化, 子どもの遊び, 伝承遊び, 文章表現			
研究課題: ①子どもの遊びを通しての子ども理解について ②生きて働く実用的な文章表現について				
研究内容: ①集団で遊べない子, 遊んでいて怪我をしやすい子が増えている。子どもたちを取り巻く環境の変化は, 子どもたちの心身の健全な発達に大きな影響を与えている。子どもの遊びを通してその実態をさぐり子ども理解を深めたいと考えている。 ②社会に出たときに活用することができる実践的な文章力を身に付けるための指導の在り方を追求している。手紙文, 履歴書, エントリーシート, レポート, 論文など, 文の種類に応じたわかりやすい指導法について考察を深めたいと考えている。				
科学研究費及びその他外部資金の獲得状況:				
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	担当頁及び編者・共著者名
(著書)				
(学術論文)				
1. 幼少連携を視野に入れた国語教育について—絵本を題材として—	共	2017年3月	藤女子大学人間生活学部紀要 第54号	84-89頁 ◎小川恭子, 駒形武志
2. 幼少連携の視点から見た教育に関する一考察—言語活動を通して「考える力」を育む—	共	2017年3月	藤女子大学QOL研究所紀要 第12巻第1号	29-33頁 ◎小川恭子, 高橋真由美, 駒形武志
3. 新学習指導要領の展開へ言語活動例を活かした授業づくりの考察～	単	2018年2月	保育学科研究紀要 第1号 藤女子大学保育学科	83-90頁

著書・論文等の名称	単著・ 共著の 別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	担当頁及び編者・共著者名
4. 国語科教育における今日的課題～「デジタル教科書」を活用した授業の展開～	単	2018年2月	保育学科研究紀要 第1号 藤女子大学保育学科	91-96頁
5. 小学校低学年書写指導について～筆順について考える～	単	2018年2月	保育学科研究紀要 第1号 藤女子大学保育学科	97-103頁
6. 石狩市におけるSAT事業の取組～スキー学習への支援～	単	2018年2月	保育学科研究紀要 第1号 藤女子大学保育学科	104-112頁
7. 小学校教育実習から見えてくる教職実践指導法の課題	単	2018年2月	名寄市立大学保健福祉学部社会保育学科社会保育実践研究第2巻	59-68頁
8. 花川キャンパスの環境を利用した保育学研究演習の実践	単	2019年2月	保育学科研究紀要 第2号 藤女子大学保育学科	61-68頁
9. 花川キャンパスの環境を利用した保育学研究演習の実践2(仮題)	単	2020年2月 (印刷中)	保育学科研究紀要 第3号 藤女子大学保育学科	
(その他) 1. グラウンドを使ったスキー指導について一簡易ポールを使った指導—	単	2017年1月	札幌市立鴻城小学校校内研修資料	4頁
III 社会連携・社会貢献				
所属学会 北海道国語教育連盟				
(社会的機関の役員委嘱等) <全国>				
<道内> 1979年～現在 2015年～現在 2018年～現在			札幌市野外活動教育研究会顧問 札幌市教育陶芸研究会顧問 石狩スキー連盟会長	
(地域的連携・貢献) 2014年～現在 2019年～現在 2019年			石狩市SAT事業への協力(スキー学習の支援) 子育て支援「お手てつないで」の企画、実践 大学体験講義「子どもって面白い」(新川高校、平岸高校、旭川南高校)	
(国際的連携・貢献)				
IV 学内運営活動				
V 学生支援に関する自己研鑽				